

劔岳 点の記 (2008)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 139分
初公開日 2009/06/20
公開情報 東映
映倫 G

【キャッチコピー】

誰かが行かねば、
道はできない。

【解説】

日本映画界を代表する名カメラマン木村大作が自ら初監督に挑み、新田次郎の同名小説を完全映画化。明治時代末期、国防のため日本地図の完成を急ぐ陸軍の命を受け、最後の空白地点を埋めるべく前人未踏の難峰・劔岳に挑んだ男たちの命を懸けた真実の物語を圧倒的なスケールで描き出す。実際に劔岳・立山連峰各所でロケを敢行、測量隊と同じ行程をほぼ忠実に辿る危険と隣り合わせの過酷な撮影の末に実現した雄大さと迫りに満ちた映像美に注目。出演は「モンゴル」の浅野忠信と「トウキョウソナタ」の香川照之。

明治39年、陸軍参謀本部陸地測量部の測量手、柴崎芳太郎は、国防のため日本地図の完成を急ぐ陸軍から、最後の空白地点である劔岳の初登頂と測量を果たせ、との命令を受ける。立山連峰にそびえ立つ劔岳は、その険しさから多くの者が挑みながら誰一人頂上を極められずにきた未踏峰の最難所であった。さらに、最新装備で初登頂を目指す日本山岳会という強力なライバルが出現、測量隊には陸軍のメンツという重いプレッシャーがのしかかる。そんな中、柴崎は前任の測量手・古田盛作を訪ね、信頼できる案内人として宇治長次郎を紹介される。そして翌40年、柴崎たち測量隊一行は総勢7人でいよいよ劔岳の登頂に臨むのだったが…。

【クレジット】

監督 木村大作
製作 坂上順
亀山千広
プロデューサー 菊池淳夫
長坂勉
角田朝雄
松崎薫
稲葉直人
企画協力 藤原正広
藤原正彦
原作 新田次郎
脚本 木村大作

『劔岳
点の記』
(文春文
庫刊)

	菊池淳夫		
	宮村敏正		
撮影	木村大作		
美術	福澤勝広		
	若松孝市		
衣装	宮本まさ江		
編集	板垣恵一		
音楽監督	池辺晋一郎		
音響効果	佐々木英世		
音楽プロ デューサー	津島玄一		
監督補佐	宮村敏正		
照明	川辺隆之		
録音	斉藤禎一		
	石寺健一		
装飾	佐原敦史		
助監督	濱龍也		
出演	浅野忠信	Tadanobu Asano	柴崎芳太郎（陸軍参謀本部 陸地測量部測量手）
	香川照之		宇治長次郎（測量隊案内人）
	松田龍平		生田信（陸軍参謀本部 陸地測量部測夫）
	モロ師岡	Moro Moroka	木山竹吉（陸軍参謀本部 陸地測量部測夫）
	螢雪次朗		宮本金作（測量隊案内人）
	仁科貴		岩本鶴次郎
	蟹江一平		山口久右衛門
	仲村トオル		小鳥烏水（日本山岳会）
	小市慢太郎		岡野金治郎（日本山岳会）
	安藤彰則		林雄一（日本山岳会）
	橋本一郎		吉田清三郎（日本山岳会）
	本田大輔		木内光明（日本山岳会）
	宮崎あおい		柴崎葉津よ（柴崎芳太郎の妻）
	小澤征悦	Yukiyoshi Ozawa	玉井要人（日本陸軍大尉）
	新井浩文		牛山明（富山日報記者）
	鈴木砂羽		宇治佐和（宇治長次郎の妻）
	笹野高史		大久保徳昭（日本陸軍少将）
	石橋蓮司		岡田佐吉（立山温泉の宿の主人）
	富岡弘		
	田中要次		
	谷口高史		
	藤原美子		
	タモト清嵐	Tamoto Soran	
	藤原寛太郎		
	藤原彦次郎		
	藤原謙三郎		
	前田優次		

市山貴章

國村隼

井川比佐志

夏八木勲

役所広司

Koji Yakusho

矢口誠一郎（日本陸軍中佐）

佐伯永丸（芦峯寺の総代）

行者

古田盛作（元陸軍参謀本部 陸地測量部測量手）